

様式 A (介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書)

令和 4 年 7 月 15 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(依頼者)

〒460-0004

住所 名古屋市中区新栄町一丁目1番

事業者名 アイホン(株)

担当者所属 営業推進部

担当者名 上田雅之

電話番号 052-228-9971

電子メールアドレス masayuki_ueda@aihone.co.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

2. 会社概要 (任意様式)

アイホン株式会社 1948年6月1日 創立

社員数 2,003名 (連結) 1,067名 (個別) (2022年3月末現在)

主要製品

戸建住宅向けシステム

集合住宅向けシステム

医療・福祉施設向けシステム

オフィス・工場向けシステム

主な受賞・認証

健康経営優良法人 2022 (大規模法人部門)

デミング賞 (2018年)

デミング賞 (1981年 実施賞中小企業賞)

ISO9001認証 (JQA-0291 該当製品: 標準品・受注品)

ISO14001認証 (JQA-EM0453 本社部門 豊田工場 大宝サイト 開発センター)

3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類 (任意様式)

※) 実績がない場合は、提出不要

なし

(本書類の取扱いと留意事項について)

○ ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。

従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。

- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="radio"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

2. 依頼者（企業）の概要

企業名	アイホン(株)	
担当者名	上田雅之	
担当者連絡先	住所	〒460-0004 名古屋市中区新栄町一丁目1番
	電話	052-228-9971
	電子メールアドレス	masayuki_ueda@aihone.co.jp
主たる業種	営業推進 アライアンス連携	
主要な製品	Vi-nurse	
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）	Vi-nurse 新見守りカメラ	
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）	試作介護機器の有無	1. 有 ・ ②. 無
	機器の目的及び特徴 患者、入居者様の広範囲での見守り支援と働く人の業務負荷軽減に寄与できることを目的とした新しいカメラの開発を検討しています。	
想定する使用者及び使用方法、使用場面	① 想定する使用者 患者、入居者、医療介護従事者	
	② 想定する使用場面 ベッドや部屋、共用部でのヒヤリハット（転倒転落、起き上がり、離床など）予防を支援し、事故予兆の把握やアセスメントに活用できるデータを収集することを想定	
	③ 想定する使用方法	

	ベッドや部屋、共用部で見守りが必要な方を対象に使用可否を選択でき、映像やデータとして保存する。
現在の開発状況と 主な課題	意見ヒアリングでの情報収集段階。お客様への訴求ポイント整理が重要と認識しているがまだ少ないことが課題。
特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラを使用したベッド周り、部屋周りでの見守り方法と確認方法 ・業務改善にカメラ映像が役立つ内容 ・見守りセンサーとナースコールデータ活用することでのメリット ・介護施設内のコミュニケーションで困っていること ・患者の傾向が見える化できることでのメリット
その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。